

# 松野尾地区福祉座談会 まとめ①

開催日：平成31年1月20日(日)14:30～16:30

## 【当日の流れ】

1. 開会挨拶...松野尾地域コミュニティ協議会 会長 渡辺様
2. 挨拶・地域福祉活動計画について...西蒲区社会福祉協議会 事務局長 五十嵐
3. 西蒲区における認知症に対する取り組み...西蒲区役所 地域福祉係長 長谷川様
4. 参考資料:動画視聴(西日本豪雨災害)
5. 6. 座談会(グループワーク)、発表
7. まとめと閉会の言葉...地域福祉計画・活動計画推進委員会 副委員長 堀様



## 【5. 6. 座談会(グループワーク) ～災害時・平常時の弱者対応について～】

### 【1グループ】

#### ①「避難行動要支援者」の支援対応

##### 1. 現状について(情報共有)

- ・名簿があるが**利用方法が明確でない**
- ・**個人情報**の問題がある
- ・最近災害が多いため、開示の方向  
⇒防災訓練の時、呼びかけをした
- ・**要支援者と思われる人が名簿に載っていない**

##### 2. 理想について

- ・向こう3軒両隣の考え方で近所付き合い
- ・**班長**に名簿を開示して支援を依頼
- ・**住宅地図**に支援者を落として分かりやすく
- ・災害時は隣近所で声かけをする(**班長任せにしない**)
- ・一時の避難所があれば...

##### 3. 具体的な行動計画

- ・**班長**クラスまで要支援者の名簿を開示  
⇒誰が誰を見守るのか
  - ・要支援者を細かく把握、載っていない人がいないように
  - ・地域の中で家族構成などを把握(細かくは聞かない)
- 情報を共有、今回のような懇談会で**みんなで考える**

### 【2グループ】

#### ②名簿に載っていない弱者世帯(高齢者障害者等)の支援

##### 1. 現状について(情報共有)

- ・名簿は組長に配布されている
- ・**個人情報**の壁がある
- ・**名簿にない人の把握が難しい**
- ・あまり災害がない(ありがたい)

##### 2. 理想について

- ・住民の人が情報公開に協力してくれる
- ・**班長、組長が重要**⇒動いてもらう
- ・飲み会、集まる機会を増やす
- ・回覧板をもっと活用⇒声をかけて渡す(**顔を絶対みる**)
- ・災害の学習会(予兆を知る)

##### 3. 具体的な行動計画

- ・**班長、組長**が動く  
⇒少人数に分けるとか工夫する
- ・防災訓練
- ・災害の予兆を知る



# 松野尾地区福祉座談会 まとめ②

## 【座談会(グループワーク)発表内容】

### 【3グループ】

#### ③防災訓練の在り方見直しについて

##### 1. 現状について(情報共有)

- ・地元小学校と一緒に昨年から年一回開催(日曜日を投稿日として開催)
- ・昨年からリヤカーでの救助移動中止した(要援護者)
- ・現状として有事の時に要援護者の移動は難しい(各班長に名簿の共有はしているが)
- ・12年間実施したが、生産年齢の方たちの参加が少ない(毎年120人程度、自営・役員の参加が中心)

##### 2. 理想について

- ・行き止まりの道もあることを知っていただく訓練も必要
- ・要支援者一人につき一台の何かが必要(車椅子とか)
- ・実際の**防災訓練に要援護者全員参加する**

##### 3. 具体的な行動計画

- ・対象者を誰が連れてくるか決めておく(大事)  
⇒対象外の方を含めて(要援護者名簿にない人も検討)

### 【4グループ】

#### ④自主防災組織・避難所運営について

##### 1. 現状について(情報共有)

- ・組織はあるが招集をかけていない
- ・訓練は出来ているがはたして本番に機能できるのか
- ・避難所を知らない(配布したマップが活用されていない)
- ・「ここは大丈夫」という意識が強い(川がない等)
- ・**要援護者の情報**(日中の居場所の把握)
- ・災害の時の具体策について話し合いが行われていない  
⇒各家庭や地域との話し合い共有されていないのでは

##### 2. 理想について

- ・災害**具体策**を共有(全戸への伝達)
- ・要援護者の情報の**可視化**
- ・小学校の鍵の存在(地元の人が持てたらいい)
- ・お互いで**情報共有**できたら
- ・事前準備

##### 3. 具体的な行動計画

- ・避難所の確認
- ・避難所運営の訓練(さまざまな災害別でシミュレーションする)
- ・かじとりを決める(司令塔)
- ・臨機応変の対応  
⇒マスコミ等各対応する窓口を決める等
- ・情報の共有化⇒話し合う機会



## 【全体のまとめ】

今回の福祉座談会では「災害時・平常時の弱者対応について」というテーマを大項目に、4グループそれぞれが異なる小項目のテーマについて話し合いが行われたが、各グループで共通の内容が挙げられた点に特徴があったように思われる。

共通で挙げられた内容については、

- 「1. 現状について」では、災害時要援護者名簿が活用されていないことや名簿に載っていない方でも支援が必要と思われるケースが存在していることなど、「具体的な対策」がなされていないことが課題として挙げられた。
- 「2. 理想について」では、災害発生時のキーマンとして各班長の動きが大切になることや、事前にマップ上に支援が必要な方や避難路を書き込むなど、地域住民で「共有できる」ことが理想として挙げられた。
- 「3. 具体的な行動計画」では、班長を中心に地域でより細かなところまで検討する機会を設けていくことが共通として挙げられた。

福祉活動計画で掲げられている「やさしさと思いやりあふれる松野尾めざして」という目標を目指し、地域に住む弱者を救っていくため、今後はさらに小さい単位(各班)で協議を行いより目の細かいセーフティネットを張り巡らせていく必要があるように思われる。